



特定非営利活動法人

# 医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.5 (134)

2015.5.26

季節の巡りを例年になく早く感じます。台風6号・7号の襲来、さらには自然の花々が競って咲き急いでいる感じです。桜島をはじめとする火山活動も活発で、何やら「天変地異」の雰囲気ですが、2015年も「折り返し」点を迎えます。今年前半の区切りとしての「ひと仕事」といきましょう。

1 定例研究会「東京」2015-5-15が以下の次第で開催されました[敬称略]。

日時：2015年5月15日（金）13時30分～17時

会場：山梨県立図書館 交流ルーム101

研究報告：

丸尾和司. Box-Coxモデルに基づく中央値の差の推測について.

武田健太朗・五十川直樹：

2値応答の複数の臨床試験結果を利用するMeta-Analytic PriorおよびJoint Power Prior の性能評価.

河合統介. Coefficients of determination in logistic regression models.

池田敏広・後藤昌司・松原義弘. 最近の話題に拾う：

”Basic and Applied Social Psychology”の編集指針.

当日は日本計算機統計学会・第29回大会の最終日で、予定されていた会場が空くとのことで、定例研究会「東京」の会場として使わせてもらいました。内容も深耕されていて、活発な議論が交わされました。

次回の予定は以下のとおりです。ご参集・ご発表をお願いいたします。

日時：2015年6月19日（木）13時30分～17時

会場：エーザイ(株)会議室

連絡先：高瀬貴夫：[t2-takase@hhc.eisai.co.jp](mailto:t2-takase@hhc.eisai.co.jp)



—定例研究会でのひとこま—

2 定例会[大阪]2015-6-6 が以下の次第で開催されます [敬称略].

日時：2015年6月6日(土) 13時30分～16時30分.

会場：(株)ベル・メディカルソリューションズ 大阪会議室

プログラム：

池田敏広. "Basic and Applied Social Psychology"の編集指針.

吉川隆範. 2重ベキ加重化変換の推測.

萩原駿祐. 論文講究："A Bayesian decision theoretic dose finding trial"

尾崎寿昭. 形状不変モデルの推定と診断.

松原義弘. 最近の話題に拾う.

後藤昌司. 連載稿の現況：①日本インターベンション治療学会誌. ②骨粗鬆症治療誌.

3 平成27年度通常総会が以下の次第で開催されます [敬称略].

日時：2015年6月6日(土) 16時30分～17時30分.

会場：(株)ベル・メディカルソリューションズ 大阪会議室

議題：平成26年度事業報告・収支決算報告

平成27年度事業計画・収支予算報告

豊中市への提出資料について

4 特定主題シンポジウム2015「臨床評価における統計的経験則」が開催されます. 前号で報告したプログラムを一部修正しています [敬称略].

日時：2015年6月20日(土) 9時50分～17時20分

会場：エーザイ(株) 小石川ナレッジセンター101A・B会議室

プログラム：

9:50-10:00 開会の挨拶

阿部 一洋 (エーザイ(株))

10:00-10:50 臨床試験デザインに関する統計的経験則

平川晃弘 (名古屋大学医学部附属病院)

11:00-11:50 臨床評価の実践と統計的経験則

古賀 正 (メディポリス医学研究財団 シーピーシー治験病院)

13:10-13:50 臨床薬理における統計的経験則

朝野芳郎 (ファイザー(株))

13:50-14:30 日常業務の中の統計的経験則

丸尾和司 (興和(株))

14:40-15:20 文献にみる統計的経験則

藤澤正樹 (あすか製薬(株))

15:20-16:00 最近の臨床評価における統計的経験則

富金原 悟 (小野薬品工業(株))

16:10-17:00 統計的経験則：製薬企業における統計家の立場から

河合統介 (ファイザー(株))

17:00-17:20 閉会の挨拶

後藤昌司 (特定非営利活動法人 医学統計研究会)

5 今後の予定と連携活動の話題を以下にご報告いたします [敬称略].

(1) サマー・フォーラム2015を以下の次第で開催いたします.

日時：2015年7月18日(土)

会場：茨木市 クリエイト・センター[302会議室]

第1部：9:30～13:00：研究集会.

第2部：15:00～17:00：ボウリング大会.

第3部：18:00～21:00：懇親会

なお、第1部は日本計算機統計学会スタディー・グループ「統計科学における包括モデルの構築と応用」[代表：丸尾和司]との共催です. 奮ってご参加いただくと幸いです.

第2部および第3部については「定員」があります。ご参加については早目に事務局へご連絡いただくと幸いです。

- (2) 特定主題セミナー2015「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」を以下の次第で開催いたします。

日時：2015年8月6日（木）-7日（金）

会場：生涯学習センターばるーん

- (3) 特定主題シンポジウム2015「データ・マネジメントの最近の動向と対処」（仮）を以下の次第で開催いたします。なお、上記（2）の参加者は、本シンポジウムに無料で参加いただけます。

日時：2015年8月8日（土）

世話人：渡辺敏彦・藤澤正樹・永久保太士

会場：交渉中

- (4) 大分統計談話会・第52回大会が以下の次第で開催されます。

日時：2015年10月8-9日

会場：富士通大分システムラボラトリ 2F AVホール

特別講演：江口絵理「ボス・ザルの特徴とリーダーシップ」（仮）

特別セッション[1]：「祝還暦」

特別セッション[2]：「臨床評価における統計家のリーダーシップ」

組織者（座長）：廣岡秀樹

演者：男性（交渉中）・女性（交渉中）・河合統介

---

編集後記①前号で報告したが、日本計算機統計学会第29回総会が以下の次第で開催されました。

日時：2015年5月13日（木）-14日（金）。

会場：山梨県立図書館

大会会長：下川敏雄（和歌山県立医大准教授）先生

下川先生が本研究会の会員でもあり、多くの仲間の方々が参加した。プログラムからの抜粋内容は、前号でもお知らせしたが、定例研究会の会場をはじめとして、いろいろご配慮いただいた。ここに下川先生に心より深謝したい。-----名和田 潜



編集後記②：本研究会の理事長の後藤昌司先生が、「日本計算機統計学会賞」（新たに設けられた賞とのこと）を授与された。表彰式が日本計算機統計学会の総会で行われた。受賞内容は以下のとおりである。-----松原義弘

推薦理由：日本計算機統計学会には、1986年の学会創立より深く携われ、長きにわたり理事・評議員を務められるとともに、1999～2000年度には会長を、2001年の本会主催の国際会議 ICNCB（ISI サテライト）では実行委員長を務められるなど、本会の普及・発展に著しい

貢献をされました。また、特定非営利法人・医学統計研究会を設立された後も、医学統計学に関するシンポジウムやセミナーの主催、臨床研究や臨床試験に関する統計相談・技術指導などを通じ、医学統計学の啓蒙・普及のための活動を行っています。さらに、後進のご指導に精力的にあたられ、本会ならびに計算機統計学の発展に著しい貢献をされています。今回新たに設けられた日本計算機統計学会賞の受賞にもっともふさわしいと考えます。-----日本計算機統計学会



なお、当日の夜の懇親会にて後藤先生から「指名」の挨拶があった：その内容は以下のとおりである。

このたびは、このような栄えある賞を頂戴し、感激いたしております。会長をはじめ会員の方々、仲間の方々に心よりお礼申し上げます。折角の機会だから、「挨拶」だけでもせよとの司会の方の仰せでございます。「挨拶」とは、語源からすると、「迫って開く」ことだと教えられたことがあります。何となく卑猥な意味を浮かべますが、個々には「一対一」の深い付き合いのうで「かけがえのない仲間をつくれ」の意味と解釈いたしております。真面目な点では、本学会の生い立ちから、本学会に関わって参りました。その点では、日本計量生物学会、応用統計学会、日本行動計量学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本統計学会など、本学会以外にもつき合いがありました。林 知己夫、奥野忠一、松山 廣、浅野長一郎、丘本 正、小川暢也、佐久間 昭、脇本和昌、正法地孝雄、柴田義貞、魚井 徹、白旗慎吾、松原義弘の諸先生（故人の方が多くなりましたが）をはじめとして、多くの仲間の方々、とくに、坂本 亘、河合統介、藤澤正樹、杉本知之、下川敏雄の勇士（有志）をはじめとする仲間の方々にたすけられて（研究）活動を続けていくことができました。思い起こせば、1986年1月27日に九州大学の浅野長一郎先生のところによばれ（というより「集まれ」という命令一下の感がありました）、第1回の発足打ち合わせ会がありました。その折に、呼ばれていたのは、脇本和昌、正法地孝雄、田中 豊、垂水共之の諸先生であったと思います。その折の書記役が、当時、学生（修士）であった、現会長の栗原考次先生であったと思います。その最初の会合は、大揉めで、結論は出ず、次回の日程（1986年3月16日）を決めただけに終わりました。その間に、脇本先生がとりまとめに奔走し、大方の意見をとりまとめ、前向きに進みだしました。そして1986年10月3日に「設立総会」、10月4日に「総会」が富士通関西システム・ラボラトリーで開催され、学会としてのスタートがきられ、本日の隆盛につながっているようです。本学会には、理由ははっきりしませんが、思い入れがあります。それは、おそらく、生い立ちなどに地方色というか、悪くいえば「野暮ったさ」（洗練されていない魅力）があったからだと感じています。とくに、地方色を大切にする姿勢と「遊」と「学」の均衡の良さが魅力的でした。今後とも「真面目くさった」他の学会とは一線を画して、野武士のような内面の品格を備えて成長して欲しいと思っています。本日には、このような機会を設けていただき、ありがとうございました。

---

Newsletter 編集：

後藤昌司・松原義弘・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲・吉川隆範

連絡先：医学統計研究会 事務局 [吉田 舞・後藤 孚]

〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号

Tel & Fax：06-6835-8790 / e-mail：bra\_goto@ybb.ne.jp / URL：<http://www.bra.or.jp>

本ニューズレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます。